

平成30年度西区自治協議会提案事業

西区の宝サポート事業 地域課題解決に向けた事業提案を募集します

西区の地域課題の解決を目的として、西区自治協議会と協働することで相乗効果が見込まれる事業を募集します。詳しくは区ホームページまたは西区地域課に設置の応募要項をご覧ください。

- 対象事業** 応募団体が実施する事業で、次の①～④いずれかに合った、西区民を対象または西区内で実施する事業（建設・工事などを除く）
 - ①健康寿命の延伸（健康づくり、スポーツイベント、ほか）
 - ②人口減少・少子高齢化（子育て支援、婚活、ほか）
 - ③商店街等活性化（内野、黒崎などの拠点商業地、ほか）
 - ④その他、西区自治協議会が必要と認めるもの
- 事業費** 1事業につき上限25万円（2事業程度採択予定）
- 応募資格** 市内に活動拠点を有する非営利の団体（法人格の有無は問わない）で、区内に在住、在勤または在学する構成員が少なくとも5人以上いること
- 応募方法** 必要書類を4月16日（月）必着で、持参または郵送で広報紙1面の「事務局」へ
- 選定方法** 書類審査およびプレゼンテーション審査（西区自治協議会で事業計画を説明していただきます）。結果は5月下旬ごろお知らせします
- 問い合わせ** 広報紙1面の「事務局」へ

真砂小学校区 コミュニティ協議会

結成は平成18年7月で19自治会を含む30団体、世帯数約4千6百です。活動は8つの部会が中心で、コミ協自体で真砂文化祭等も実施しています。平成27年5月に「地域活性化計画（5ヶ年）」を策定、また29年5月には「真砂コミ協10年のあゆみ」を発行し、これらを指針として各種活動に努めています。

特徴は保安林整備や、海岸線の飛砂対策等の10年来の継続課題を抱えていること。少子高齢化の中で各自治会でも工夫して活動していますが、拠点となる「まちづくりセンター」の早期の建設が待たれます。（会長 佐藤 昭）



人回砂丘に飛砂防止のため「浜にんにく」を植栽



昭和18年頃、的場潟での麦採り

坂井輪地区周辺の平野部には、かつて大小数多くの潟、沼、池がありました。この地域はもともと低地であった上に、一旦洪水になると悪水が砂丘と川の土手に阻まれて行き場がないため溜り続け、長い間にできたものと言われています。

地図に名前がのっているものとしては、的場潟、二枚目潟、三枚目潟、琵琶潟、白鳥潟などがあります。

夏には、舟を出して、コイ・ナマス・ライギョなどを捕まえて食べ、食料不足のすきつ腹を満たしたものでした。冬になると、カモやキジも狩猟され貴重なそして上等な食料でした。

現在の亀貝から緒立に向かう途中（旧道）に六地藏菩薩と言われるお地蔵様があって、そこから黒鳥に向かう左側に池があり、そこでも諸々の魚を捕まえるのが子供たちの遊びでした。これらの潟などは、昭和23～25年頃から耕地整理が行われ、昭和42～45年頃までに埋め立てられました。

その後、その辺りに、流通センター、新潟工業高校、新潟警察学校、小中学校などが造られ、現在に至っています。

知ってほしい街のタネ

坂井輪地区にあった潟、沼、池

新春 お年玉付きクロスワードパズル 答え

昨年4月に西区特産品の一つである「くろさき茶豆」が県内で初めて国の地理的表示（GI）保護制度に登録されました。西区の事がわかるパズルにしたいと、ヒント等工夫しました。272通ものご応募をいただき、抽選による図書カード当選者20名には、3月上旬に発送させていただきました。当広報紙ははじめ自治協議会にいただいたご意見は、私どもにとって宝物になりました。ありがとうございました。

地理的表示（GI）保護制度とは

産品の名称（地理的表示）を、国が知的財産として保護する制度です。これまでに神戸ビーフやタ張メロンなどが登録されており、くろさき茶豆は全国で29番目に登録されました。

募集しています

広報紙や自治協議会活動についての「意見動」についてのご意見をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。

◆ あなたの「自慢の写真」（家族・ペット・風景・イベント等）に住居・氏名（氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。（電子メール可）◆ 採用者には千円の図書カードを贈呈。◆ 応募写真は返却しません。◆ 締め切り5月末日（7月号掲載予定）。◆ 送付先／広報紙1面の「事務局」あて。

編集後記

私たちの周りにはたくさんの地域課題があります。今回はその解決に向けて取り組んだ各部会の活動を振り返りました。来年度の活動に活かしたいと思います。

そして新任委員から寄せられた「西区の夢」が叶い、豊かな西区になりますように。来年度もご愛読よろしくお願いいたします。（佐野恭子）

西区を豊かに

第25号

発行所 新潟市西区自治協議会
会長 岩脇 正之

事務局 〒950-2097
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL：025-264-7161 FAX：025-269-1650
E-mail：chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

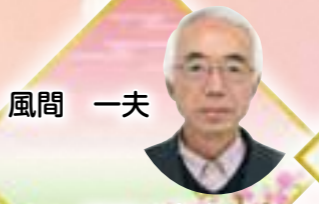
西区の夢

西区自治協議会委員就任1年目のみなさんから、「西区の夢」を語っていただきました。これらの夢が実現するよう西区自治協議会として取り組んでまいります。



五十嵐 加代子

子ども達の未来が豊かに夢あふれる西区へ！



風間 一夫

西区の宝を大きく育て、活気あふれる西区に



嘉藤 稜子

情報発信力を持ち、教育文化に理解ある地域



加野 麻理子

ご近所同士声をかけあい、支えあえる西区に！



小林 勉

支え合い誰もが住み良い西区の輪



小林 直起

商店街や子供達が生き生きとした元気な西区にしたい！



古俣 民

地域活性化につながる取り組みで西区に笑顔を



近藤 純子

地域に役立つ情報発信で元気な西区に！



佐藤 昭

自然豊かで子供たちの声が溢れる西区



高橋 伸絵

暮らす街に目を向けて。一步！手を取り合える西区



高橋 由紀子

西区を元気に！健康寿命の延伸をめざす



田中 米三

若い人たちが集まる西区 我々がいかにサポート



藤田 美幸

地域力で創意あふれる生涯躍動し続ける西区へ



藤橋 雅廣

茶豆タワー建設、人口減少に歯止めを、なせばなる



藤丸 圭子

「和顔愛語」で優しい街づくりの自治協を！



山川 豊子

明るく楽しく安心して農業が出来る西区に

課題探究の鍵は現場にあり

～第1部会の取り組み～

西区自治協議会の第1部会は、防犯、防災、自然環境、住環境等の分野を担当しています。西区で解決しなければならない問題として何があるのか、部会メンバーで協議を進めてきました。防犯、防災、飛砂、除雪、治水、公園など多岐に亘ります。協議しているうちに、「どのような問題がひそんでいるのか」まずは現場を知ることが必要であるということで、8月の部会での協議を早めに切り上げて、4か所に絞って現地視察を実施しました。視察の結果、さまざまな事象を知ることができたので、特集としてご紹介します。

治水について ▶▶ 新川河口排水機場

西区一帯の農地及び住宅地の雨水は、数多くの排水機や排水ポンプに頼っている現状に思いをはせる人は意外と少ない。視察した新川河口排水機場は、ポンプ羽根口径4.2mの排水機が6台という日本最大級の排水機場。25mプールの水を約1.5秒で空にする排水能力は、50年に一度の大雨にも対応できるという排水対策の現状を視察することができました。なお、新川河口排水機場が東日本大震災級の大きな津波によって破壊されたとした場合、西区一帯が瀕湖化する不安、薄氷を踏む思いはぬぐえないと感じました。



新川河口排水機場

飛砂について ▶▶ 国道402号線新潟海岸飛砂対策地

国道402号線上の道路に海岸からの飛砂が堆積する課題の解決手法として、平成26年度以降区が取り組んできた飛砂防止柵の新設、修繕、人工砂丘の新設、そして、地域との協働による植栽が着実に成果を発揮している現地を实地に視察することができました。取り組みの効果が生じていると判断しました。



飛砂防止柵及び人工砂丘

自然環境、住環境および防災について ▶▶ 寺尾中央公園

広域避難所に指定され、広大な松林に囲まれた寺尾中央公園は、西区を代表する公園と承知しました。津波避難者用に設置されている防災倉庫の備蓄品の確認を行い、備蓄品のさらなる充実を求める意見などがありました。各地域の学校等にそれぞれ避難所としての備蓄品も整備されつつあることも確認しました。



寺尾中央公園防災倉庫

飛砂について ▶▶ 佐潟・赤塚砂丘地

春先にかけて粒子の細かい飛砂が上空に舞い上がることが、住環境や耕作において周辺地域の大きな課題。高速道路建設のための土砂の搬出と海岸保安林の消失が原因。砂丘耕地が広大なため、課題解決への難しさを痛感しました。当該地域の農業者と周辺地域の住民との間に協議会を立ち上げて、新潟市の飛砂防止対策事業として、砂防のための樹木の植栽と防砂ネットの設置を少しずつ進めるなど対策を講じていることは評価できます。しかし、残念ながら対象地があまりにも広大過ぎて焼け石に水といった感は否めない、そんな感想を持ちました。

飛砂問題については課題が大きすぎるため、新潟市の施策を含めて今後の対応を見守ることにしました。また、治水については、排水機場やポンプ場の排水により地域への浸水を防いでいることを知って欲しいと思います。

その他の課題として、振り込め詐欺などの防犯については、西警察署とで情報を共有し啓発活動に努めたいと考えています。

「商店街等活性化研究・実践事業」 西区自治協議会の活動に 若者の知恵と力を

内野商店街等の活性化に向け、新潟大学・新潟国際情報大学の学生達の若い感性を活かし、協力して実践・研究を行いました。ここに活動の一端を紹介します。

“うちのDEこすぶれ&イルミネーション”

新潟国際情報大学学生研究チームでは、昨年度から取り組んできた「うちのDEこすぶれ」をより気軽に楽しんでいただくとともに、内野地区への誘客、飲食店等の利用による賑わいを一層高めたいと、今年度はコスプレイベントに加え、『SNS映え』するイルミネーションを内野まちづくりセンターに設置しました。

1月13日実施の点灯式では、雪がちらつく中、カメラを持った方や子ども連れのご家族、商工会関係者などが集まり賑やかでした。

また、新潟西商工会の協力により、イルミネーション設置期間(1月13日～1月31日)に協力店舗の前で写真撮影し、SNS発信することで割引等の特典を入手できる取り組みを行いました。



“café四ツ角”

新潟大学学生研究チームから企画提案いただいた、空き家を情報発信や学生・地域住民の交流拠点とする案について、内野地域商店街活性化ワーキングチームで検討しました。

ワーキングチームでは、情報の発信方法に着目し、地域の情報を盛り込んだイベントカレンダーやSNSの活用等が検討されました。

部会・プロジェクトチーム

平成29年度 取り組みのふりかえり

第6期の西区自治協議会が開始して1年が経ちました。地域課題を分野ごとに検討してきた3つの部会と2つのプロジェクトチームがそれぞれの活動内容について振り返ります。

第1部会

防犯、防災、自然環境、住環境

高齢者を中心に被害者が後を絶たない特殊詐欺について、勉強会を実施し、知識を深めました。また、提案事業として、「西区自治協議会発足10周年記念講演会」と題して、防災・防犯講演会を実施し、地域の防災・防犯力の向上に繋がりました。



防災講演会

第2部会

保健福祉、文化、教育

活力あるまちづくりを目指して、日本トレッキング協会会長の国井雅比古氏をお迎えした「幸齢いきいき講演会」のほか、小学生約110名の参加による「スポーツ鬼ごっこ西区Cup」を開催しました。また、教育ミーティングや保育園入所利用調整などの地域課題について検討を深めました。



スポーツ鬼ごっこ 西区Cup

第3部会

農林水産業、商工業、交通

提案事業として、区の特産物の消費拡大や交流人口の拡大のために「西区ふれあいカレンダー」の作成や、内野拠点商業地の活性化に向けて、内野地域商店街活性化ワーキングチームと連携し、「商店街等活性化研究・実践事業」に取り組みました。



西区ふれあいカレンダー

プロジェクトチーム1

自治協議会広報紙の発行

西区自治協議会の様子を知っていたらこうと広報紙「西区を豊かに」を年4回発行しました。文は書き手の元を離れた途端に一人歩きすると言われるなか、内容がきちんと伝わるかと不安を覚えることもありましたが、よりわかり易く親しめる広報紙の作成に向け部会委員一同努力してまいりました。



プロジェクトチーム2

西区アートフェスティバルの企画・実施

第5回西区アートフェスティバルを開催いたしました。音楽・芸能分野の発表の場として、また、今年初めて各公民館等を巡回する「西区アートキャラバン」を実施し、アート作品展示の充実をより一層図り、多くの区民に楽しんでいただきました。



西区アートフェスティバル